

避難する時の注意

万一災害の危険が迫ってきたら次の点に注意し、冷静に状況判断をしながら早めに避難しましょう。また地域ぐるみで協力し、助け合うようにしましょう。

1 災害情報に注意しながら早めに避難しましょう

- 大雨の時、道路より低い所は浸水してしまうおそれがあります。大雨の時はできるだけ道路より低い所をさけるようにしましょう。
- 災害時の車の避難は大変危険です。水圧で閉じこめられる可能性があります。徒歩で避難するようにしましょう。
- 洪水時は足下が見えず、側溝や小川、池の位置がわかりにくくなってはまってしまふ危険性があるので注意しましょう。また、子どもやお年寄りからは目を離さず、手を引くなどの手助けをしましょう。



2 土砂災害の特徴を知り避難しましょう

- 土石流は速度が速いので、流れを背にして逃げるのではなく、土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。（水平避難）
- 一般的にがけ崩れの土砂は、地面が平らなところでは、がけの高さの2倍の距離までくるといわれています。避難する場合は、がけからできるだけ遠くに逃げるようにしましょう。
- 土砂災害は本格的に活動するまで、いろいろな予兆が見られます。注意を怠らないようにしましょう。



3 要配慮者への支援をしましょう

- 高齢者・障がい者・傷病者・乳幼児・外国人の方などの『要配慮者』といわれる方は、災害が発生した場合、情報収集や避難行動・避難生活などで困難な状況に置かれることが多くなります。地域で声をかけて励ましたり、手を添えたり、肩を貸すなどの支援をしましょう。

4 その他の避難ポイント

車での避難はさける



渋滞を引き起こす原因となり、災害に巻き込まれる恐れがあります。

運転をやめて高台へ



車は約30cmの浸水で、走行困難になります。早めに高台に行きましょう。

川には近づかない



雨が降ってなくても、サイレンなどが聞こえたら、すぐに避難しましょう。

2階への避難も



道路が冠水している時は、自宅や近隣の2階に避難するようにしましょう。